



家畜衛生情報

冬は子牛の下痢症に注意!!

徐々に暖かな春の陽気な日が増えてきましたが、まだまだ寒さが厳しい日もあり一日の気温差、日ごとの気温差が大きな日が続いています。このため、人も牛も体調を崩しやすくなっています。

1月の下旬から、管内で子牛のロタウイルスによると思われる下痢症が続けて発生しております。



【症状】

生後数日から1週間程度の子牛で激しい水様性下痢を排泄するため、脱水を起こして衰弱してしまいます。他に発熱・食欲不振・元気消失などの症状を示します。

【対処法】

下痢症状が出た子牛の隔離。ハッチの清掃・消毒の徹底。
→畜舎内、農場内にウイルスを広めない
畜舎毎、特に子牛の畜舎に入るときは
専用の長靴を用意することがベスト!!

また、早めに獣医師に診察をお願いしてください。

農場の外からウイルスを持ち込まない、持ち出さない!!

各農場で外来者用の長靴を用意するなどして農場内への持ち込みを予防してください。

